

2021年4月12日

B-Max Racing 2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 参戦体制について

B-Max Racing 株式会社（本社：神奈川県綾瀬市：代表取締役 宮田雅史）は、2021年の全日本スーパーフォーミュラ選手権に参戦します。

2020年に2台体制で参戦したB-Max Racingは、2021年もHonda / M-TEC HR-417Eエンジンを搭載した2台体制で、国内最高峰にして海外からも注目されている全日本スーパーフォーミュラ選手権に参戦、既に公式エントリーしている通り、50号車ドライバーにはイブ・バルタス（米国）を起用します。

バルタス選手は、ユーロ・フォーミュラ・オープンやフォーミュラ・ルノーで腕を磨いてきた気鋭の18歳のドライバーです。現在は新型コロナウイルス感染拡大の影響により来日が実現しておりませんが、来日し自主隔離措置が終了次第、参戦開始します。

一方の51号車のドライバーには、2020年にもステアリングを握った松下信治選手を起用します。2020年中盤までFIAフォーミュラ・ツー選手権（F2）で戦い、その後全日本スーパーフォーミュラ選手権での3位表彰台獲得経験を持つ松下選手は、4月24日（土）～25日（日）に三重県の鈴鹿サーキットで開催される第2戦から最終戦まで参戦します。

国内最高峰のトップフォーミュラカテゴリーである全日本スーパーフォーミュラ選手権を盛り上げるべく、B-Max Racingは全力で取り組んで参ります。是非皆様のご声援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

B-Max Racing 組田龍司総代表のコメント

「ファンの皆様からの声や、関係各所の皆様のご尽力により、合同テストと第1戦は欠場しましたが、第2戦以降松下選手とふたたびレースをやれることになりました。ここまで背景を整えてくれた関係各位に心から感謝したいと思います。ありがとうございます。とはいえレースですから、背景がどうであれ結果を獲りにいくことだけが使命です。テスト、第1戦に出場していないことはチーム、ドライバーにとってはマイナス要素ですが、いかに跳ね返せるかが大事だと思います。そういった不利な状況はありますが、今季は有効ポイント制で、松下選手はまだまだタイトルを狙える力があるドライバーだと思っています。我々もそれをできるだけサポートできるようにしたいと思いますし、昨年の後半3戦のパフォーマンスを引き出せるように頑張りたいと思います」

松下信治選手のコメント

「今回の参戦決定に至るまでに様々な壁がありましたが、自分が思っている以上にチームやHondaの方々が見ていてくれて、あきらめない気持ちを持ち続けた結果、組田総代表が『ドライブできるように頑張ってみよう』と後押ししてくれました。その皆様の思いがいろいろな壁を動かしてくれましたし、すべての人たちに心から感謝を申し上げます」